日本有機株式会社

2024 年度　環境経営レポート

（対象期間 2024 年6月1日～　2025 年5月31日）

®環境省
エコアクション21

認証番号0009703



発行日：　2025年9月16日
改訂日：　2025年10月27日

目　　次

項　　目	ページ
あいさつ　環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割･責任･権限表	5
許可の内容	6
廃棄物処理フロー	7
主な環境負荷の実績	8
環境経営目標及びその実績	8
環境経営計画の取組結果とその評価	9～11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し･指示	13
これまでの環境活動の紹介	13

主な商品







アクセス



Ⅰ. ごあいさつ

環境経営方針

＜環境経営理念＞

当社は、産業廃棄物処理（中間処分　肥料化）及び産業廃棄物収集・運搬業を主とする事業活動を通じて、循環型社会の構築を目指すとともに、エコアクション21の活動により、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に環境への取り組みを推進します。又、環境経営の継続的改善に努めます。

＜環境保全への行動指針＞

１．環境関連法規制・条例や当社が約束したことを遵守します。

２．二酸化炭素排出量の削減を推進します。（電気、ガソリン、軽油、灯油、重油、LPG）

３．自社の廃棄物の削減及び再生利用または、適正処理を推進します。

４．水使用量の削減を推進します。

５．受託資源（有機性廃棄物）の安定した肥料化を行います。

６．地域密着型の事業活動を行うとともに、地域の環境保全、環境美化活動の取組を積極的に行います。

７．本方針を全従業員に周知徹底いたします。

制定日：2013年2月1日
改定日：2022年8月1日

代表取締役　　中村　雅亘

Ⅱ. 組織の概要

（1） 名称及び代表者名
日本有機株式会社
代表取締役　中村　雅亘

（2） 所在地
本　　社　　岡山県岡山市北区芳賀5316番地
大佐工場　　岡山県新見市大佐布瀬12番地の2

（3） 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　中山　浩徳　　TEL：0867－98－3255

（4） 事業内容
産業廃棄物の中間処理（肥料化）及び肥料製造・販売
（主要製品：土壌っこ、大地の恵み）

（5） 事業の規模
法人設立　　昭和56年6月2日
資本金　　10,000 万円
売上高　　44,166 万円　（2024年度）

	大佐工場
従業員	14
延べ床面積	5,605㎡

受託した産業廃棄

収集運搬量	0 t		
中間処理量	28,331 t	うち再資源化量	28,331 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	0 t	うち再資源化量	0 t

構内作業車

車種	台数	仕　様
ホイルローダー	3 台	日立建機　2.6㎥～3.0㎥
リフト	8 台	TCM　3t、2.5t、2t　トヨタ　3t

産業廃棄物収集・運搬車両およびその他の車両

キャブオーバー	2 台	6t平ボディ、15t平ボディ
ダンプ	2 台	4t、10t
アームロール	2 台	10t
軽四トラック	2 台	
合計	8 台	

工場内設備機器

名称	台数	備考
ペレタイザー	1 基	PM-550ペレットミル
包装機	1 基	3CM－P
パレタイジングロボット	1 基	EH－705
攪拌装置1号機	1 基	搬送能力：20㎥/1稼働
攪拌装置2号機	1 基	搬送能力：20㎥/2稼働
トロンメル	1 基	
脱臭機	5 基	

（6） 事業年度
６月～翌年５月

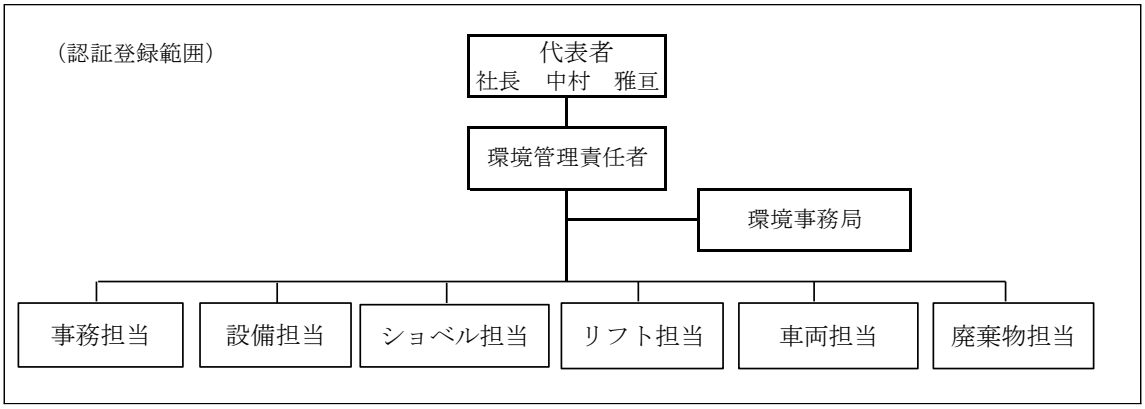
Ⅲ. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　　日本有機株式会社
対象事業所：　　大佐工場
活　　動：　　産業廃棄物の中間処理（肥料化）及び肥料製造・販売

Ⅳ. 事業の紹介

当社は、国内資源を活用し、発酵・乾燥させることにより土に優しく効果の高い製品作りに専念しております。
20数年間、あらゆる果樹・野菜作りに適した普通肥料を作り、全国の皆様にご愛顧いただいております。

Ⅴ．環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・経営の課題とチャンスの整理、明確化
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅵ. 許可の内容

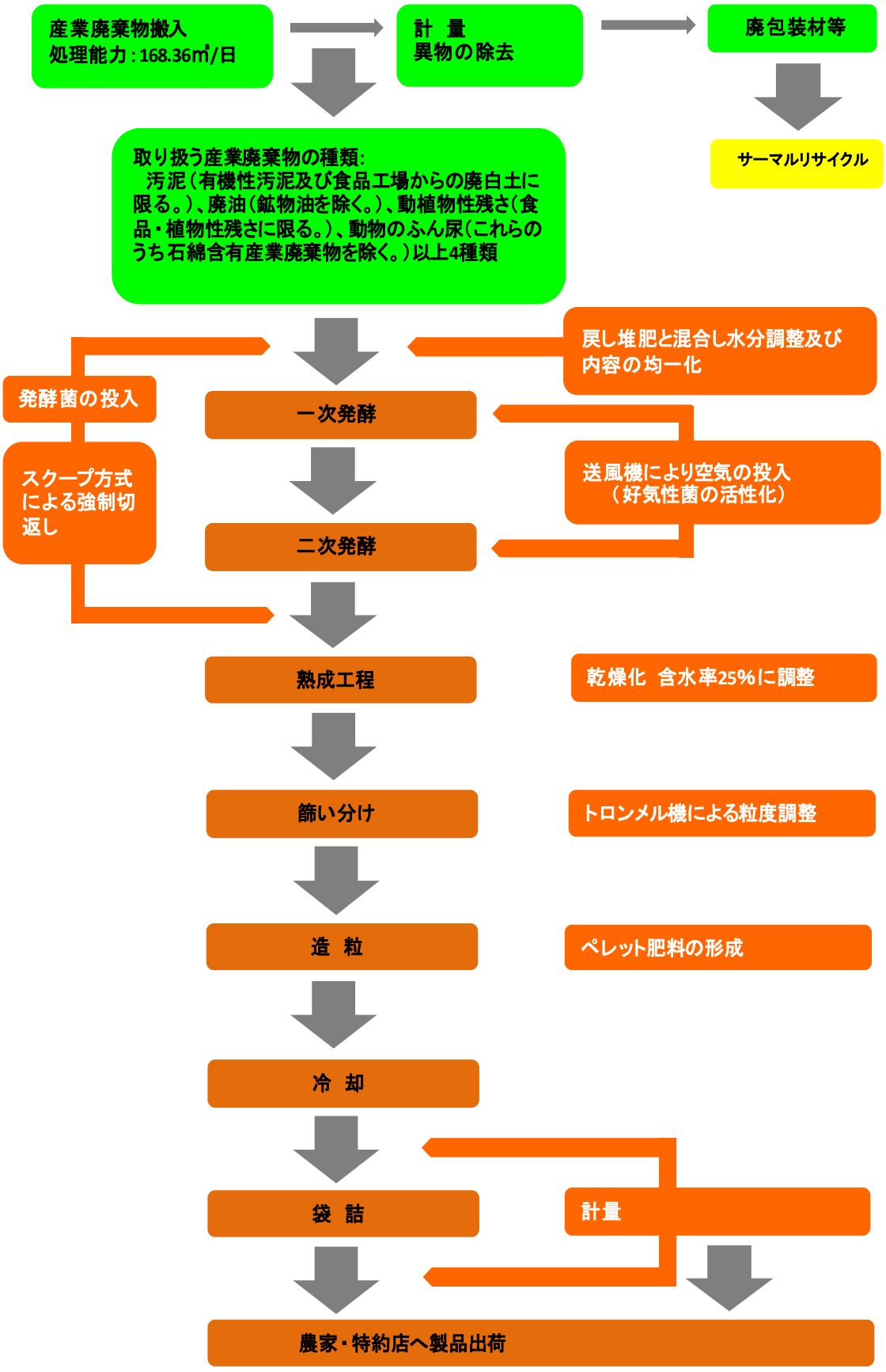
産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	動物のふん尿
岡山県	第03306006740号	令和5年8月1日	令和10年7月31日	無		○								○				○	○
兵庫県	第2804006740号	令和5年11月17日	令和10年11月16日	無		○								○				○	○
大阪府	第02700006740号	令和6年9月30日	令和11年9月29日	無		○								○				○	
京都府	第02600006740号	平成30年4月9日	令和10年3月24日	無		○												○	

産業廃棄物処分業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類										
					汚泥	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	燃えがら	金属くず	動植物性残さ	動物のふん尿
岡山県	第03326006740号	令和5年8月1日	令和10年7月31日	中間処理											
				発酵による肥料の製造	○						○			○	○

Ⅶ. 廃棄物処理フロー


産業廃棄物搬入
処理能力：168.36㎥/日
計　量
異物の除去
廃包装材等
サーマルリサイクル
取り扱う産業廃棄物の種類:
汚泥（有機性汚泥及び食品工場からの廃白土に限る。）、廃油（鉱物油を除く。）、動植物性残さ（食品・植物性残さに限る。）、動物のふん尿（これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く。）以上4種類
戻し堆肥と混合し水分調整及び内容の均一化
発酵菌の投入
一次発酵
スクープ方式による強制切返し
送風機により空気の投入（好気性菌の活性化）
二次発酵
熟成工程
乾燥化　含水率25%に調整
篩い分け
トロンメル機による粒度調整
造　粒
ペレット肥料の形成
冷　却
袋　詰
計量
農家・特約店へ製品出荷

Ⅷ. 主な環境負荷の実績

項　目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	1,415,504	1,352,463	1,455,098
電力使用量	kWh	2,061,067	1,918,655	1,958,075
ガソリン使用量	L	1,437	1,305	1,997
軽油使用量	L	90,377	99,360	112,810
灯油使用量	L	7,859	4,005	4,262
重油使用量	L	108,000	102,000	120,000
LPG使用量	m^3	367	286	404
受託収集運搬量	トン	0	0	0
受託中間処理量	トン	22,910	25,624	28,331
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量	kg	35,580	48,495	46,567
一般廃棄物排出量	kg	540	520	500
産業廃棄物排出量	kg	35,040	47,975	46,067
水使用量	m^3	2,610	2,745	2,701

電力の二酸化炭素排出係数は関西電力の2022年度の実績値0.420kg－CO_2/ｋＷｈ（調整後）を使用
化学物質の使用はありません

Ⅸ. 環境経営目標及びその実績

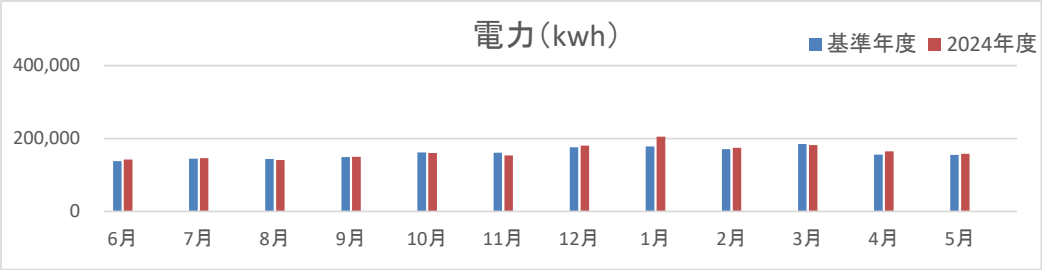
		基準値	2024年度		評価	2025年度	2026年度
		（基準年度）	（目標）	（実績）		（目標）	（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	805,835	797,777	822,392	×	789,718	781,660
	基準年度比	2023年度	99%	102%		98%	97%
ガソリンによる二酸化炭素削減	kg-CO2	3,028	2,998	4,634	×	2,967	2,937
	基準年度比	2023年度	99%	153%		98%	97%
軽油による二酸化炭素削減	kg-CO2	256,349	253,786	291,050	×	251,222	248,659
	基準年度比	2023年度	99%	115%		98%	97%
ＬＰＧによる二酸化炭素削減	kg-CO2	857	848	1,211	×	840	831
	基準年度比	2023年度	99%	141%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO2	9,972	9,872	10,612	×	9,773	9,673
	基準年度比	2023年度	99%	106%		98%	97%
重油による二酸化炭素削減	kg-CO2	276,420	273,656	325,200	×	270,892	268,127
	基準年度比	2023年度	99%	118%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	1,352,461	1,338,936	1,455,098	×	1,325,412	1,311,887
一般廃棄物の削減	kg	520	515	500	○	510	504
	基準年度比	2023年度	99%	96%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	47,975	47,495	46,067	○	47,016	46,536
	基準年度比	2023年度	99%	96%		98%	97%
水使用量の削減	m^3	2,745	2,718	2,701	○	2,690	2,663
	基準年度比	2023年度	99%	98%		98%	97%
受託実績	t	25,624	25,880	28,331	○	26,136	26,393
	基準年度比	2023年度	101%	111%		102%	103%
環境に適した製品の販売促進	t	11,956	12,076	14,466	○	12,195	12,315
	基準年度比	2023年度	101%	121%		102%	103%

※環境に適した製品とは、廃棄物から製造した安心安全な肥料

Ｘ．環境経営計画の取組結果とその評価

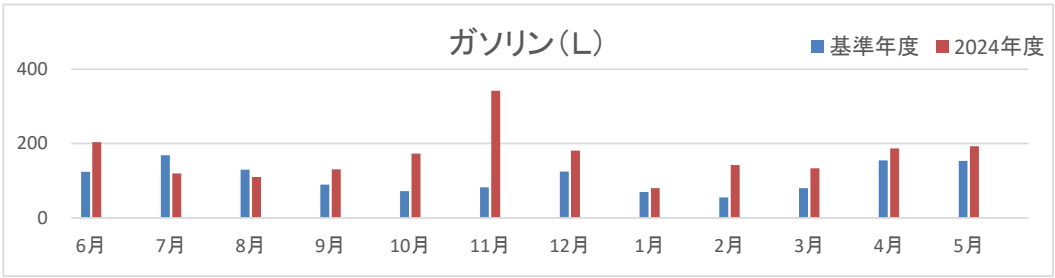
数値目標：〇達成　×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	生産が増え設備機器の使用量が増加したため目標未達。原単位で比較してみると向上出来ている。機器の空運転の見直し等を徹底し、目標達成に向けて取り組んでいく。
・エアコンの温度管理	〇	
・設備機器の空運転防止	〇	
・照明管理	〇	



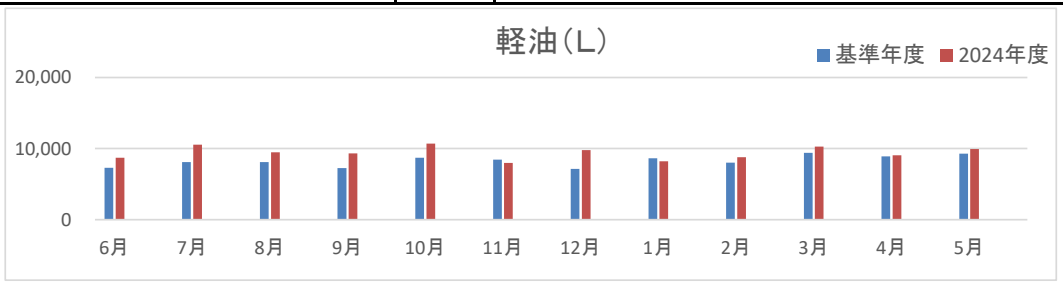
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	137,971	144,642	143,902	148,896	162,094	161,178	175,853	178,216	170,558	184,608	155,788	154,949	1,918,655
2024年度	142,615	146,162	141,004	149,683	160,409	153,497	180,539	204,818	174,833	181,615	165,140	157,760	1,958,075

ガソリンによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	ガソリン式新機器導入により使用量が増加したため目標未達。機器の空運転の見直し等を徹底し、目標達成に向けて取り組んでいく。
・アイドリングストップ	〇	
・機器の空運転防止	〇	



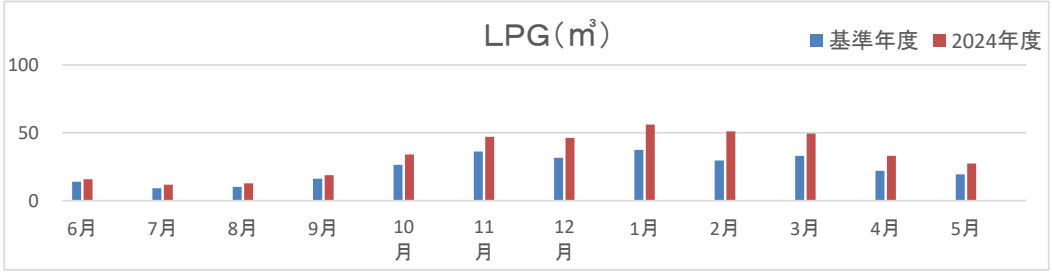
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	124	169	130	90	72	82	125	70	55	80	155	153	1,305
2024年度	204	120	110	131	173	343	181	80	142	134	187	193	1,997

軽油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	受託量増加により重機等の利用が増え使用量が大幅に増加した。来年度はより一層アイドリングストップ、適正な車両整備を行う等徹底し、目標達成に向けて取り組んでいく。
・アイドリングストップ	〇	
・適正な車両の整備	〇	



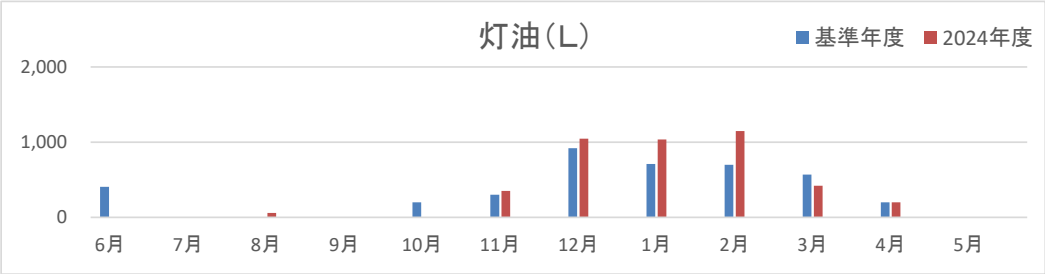
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	7,281	8,117	8,119	7,276	8,697	8,440	7,155	8,649	8,018	9,407	8,899	9,302	99,360
2024年度	8,701	10,564	9,481	9,308	10,696	7,996	9,779	8,225	8,783	10,273	9,076	9,928	112,810

ＬＰＧによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	温水利用が増え使用量が増加した。特に冬季においては給湯の設定温度が高くなり使用量が大幅に増えてしまった。来年度はｼｬﾜｰの使用時間を一人一人意識し短縮することで使用量を抑え、目標達成に向けて取り組んでいく。
・節約ステッカーの掲示	〇	



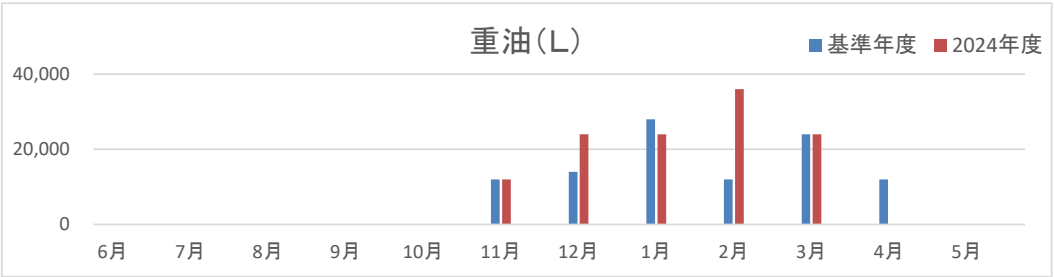
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	14	9	10	16	27	36	32	38	30	33	22	19	286
2024年度	16	12	13	19	34	47	46	56	51	50	33	28	404

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	上期は概ね目標達成しているが、下期はストーブの利用が増えるため全体でみると目標未達。節約を心掛け目標達成に向けて取り組んでいく
・気温管理による暖房制限	○	
・不要時の電源ＯＦＦ	○	



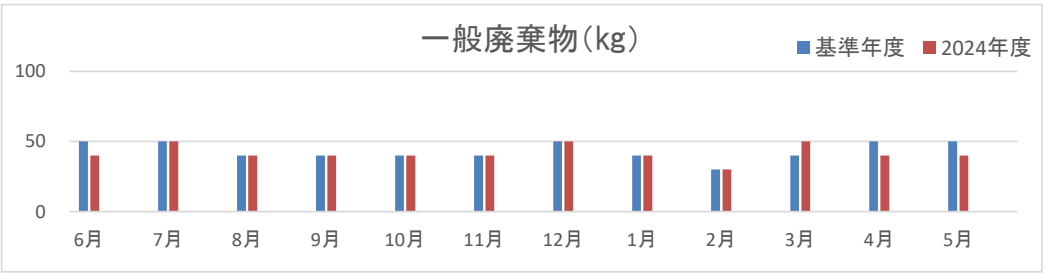
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	405	0	0	0	200	300	920	710	700	570	200	0	4,005
2024年度	0	0	60	0	0	353	1,047	1,035	1,147	420	200	0	4,262

重油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	冬季に原料を乾燥させるためにボイラーで使用する。その年の気温により使用量が大きく左右されるが今期は受託量が増えたことにより使用量が増加。設備の火力調整を徹底し燃焼効率をUPすることで目標達成に向けて取り組んでいく
・設備の火力調整	○	



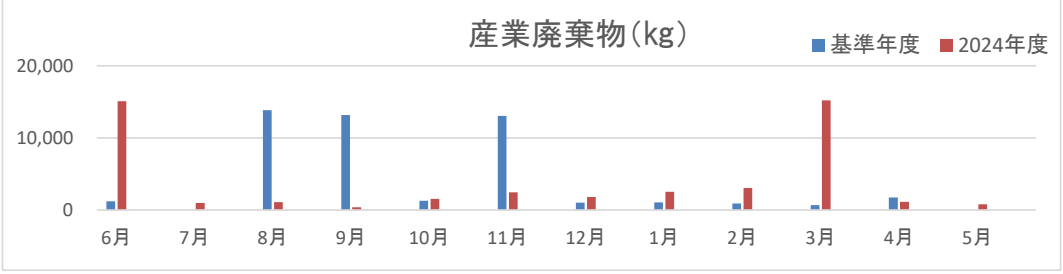
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	0	0	0	0	0	12,000	14,000	28,000	12,000	24,000	12,000	0	102,000
2024年度	0	0	0	0	0	12,000	24,000	24,000	36,000	24,000	0	0	120,000

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成できたので引続き取組を継続する。
・分別によるリサイクルの推進	○	



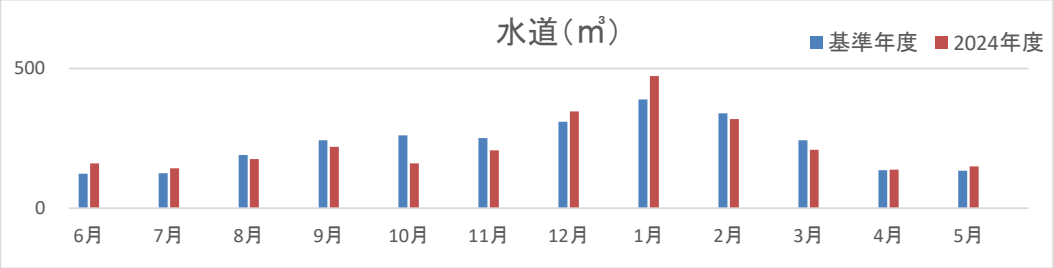
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	50	50	40	40	40	40	50	40	30	40	50	50	520
2024年度	40	50	40	40	40	40	50	40	30	50	40	40	500

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成できたので引続き取組を継続する。
・分別によるリサイクルの推進	○	



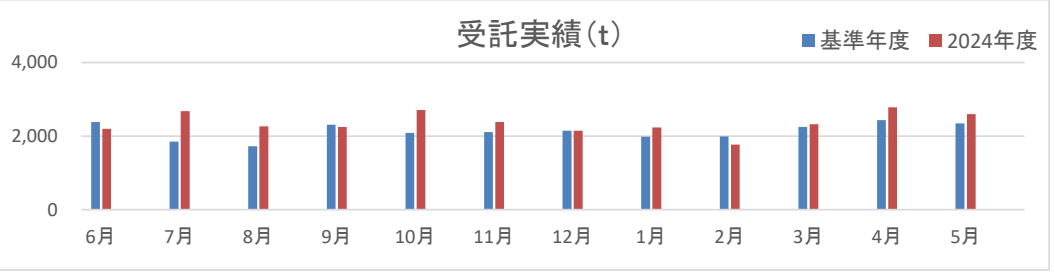
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	1,210	0	13,835	13,170	1,300	13,040	1,020	1,070	910	700	1,720	0	47,975
2024年度	15,100	970	1,100	370	1,550	2,440	1,810	2,530	3,070	15,215	1,120	792	46,067

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成できたので引続き取組を継続する。
・節水意識の向上	○	
・樹木水遣りの効率化	○	



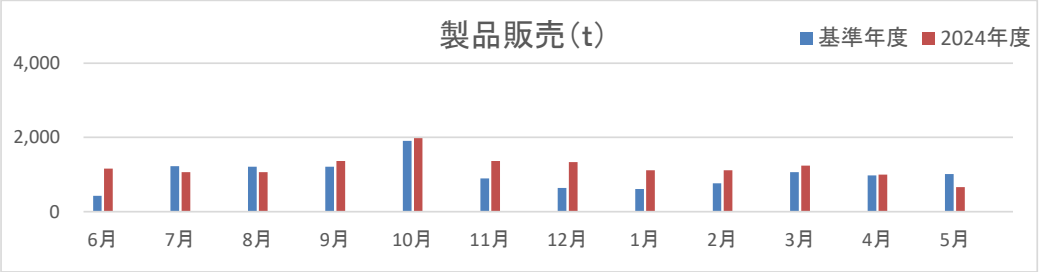
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	123	125	191	243	261	251	309	389	340	243	136	134	2,745
2024年度	160	143	176	220	160	207	346	473	319	209	138	150	2,701

受託実績	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成できたので引続き取組を継続する。
・新規顧客の獲得	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	2,384	1,854	1,725	2,309	2,089	2,110	2,146	1,984	1,988	2,252	2,434	2,349	25,624
2024年度	2,197	2,681	2,262	2,251	2,710	2,380	2,144	2,238	1,768	2,322	2,781	2,597	28,331

環境に適した製品の販売促進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成できたので引続き取組を継続する。
・市場・顧客情報の調査	○	
・積極的な営業活動	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	430	1,224	1,213	1,209	1,905	897	643	613	762	1,066	977	1,017	11,956
2024年度	1,163	1,062	1,066	1,364	1,980	1,362	1,333	1,118	1,113	1,243	999	663	14,466

XI．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	遵守の有無	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	○	中間処理業、産業廃棄物（汚泥、動植物性残さ、動物のふん尿、廃油等）の適切な処分
肥料取締法	○	肥料の登録・届出、成分の保証・品質の表示
悪臭防止法	○	臭気の測定、6段階臭気強度表示法による感応チェック
騒音規制法	○	地域別騒音基準の順守
振動規制法	○	地域別振動基準の順守
水質汚濁法	○	特定施設の届出、排水濃度の測定・記録
消防法	○	消火設備の定期点検、少量危険物の届出・点検
家電リサイクル法	○	該当なし

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は全て遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

Ⅻ. 緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：　火災の発生	
■実施日：　2024年10月11日	■実施場所 日本有機㈱　大佐工場
■参加者：　全員	■実施内容 消火手順の確認 ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価：全員が消火手順を確認できた。	手順書の変更の必要性 □ あり　☑ なし

■実施状況の様子



ⅩⅢ．代表者による全体の評価と見直し・指示

代表取締役　中村　雅亘　　実施日：2025年9月18日

当社は昨年度、基準年度を見直し新たな環境目標を設定するとともに、全従業員に対して環境活動への意識向上を図り取り組みを進めてまいりました。
その結果、設定した目標の多くは未達成とはなりましたが、原単位においては向上することが出来ました。未達成の要因としましては、近年受託量の減少が続いており、受託量増加を昨年度の必須目標にし、既存取引先への営業活動を強化したことで受託量が増加,それに伴って電力 化石燃料の使用量及び排出量が増加したことによるものだと考えております。
今後につきましては、次年度において再度目標を見直すとともに、創意工夫を凝らした取り組みを推進したいと思っております。大きな改善は難しいが少しずつ改善できるようまた如何に効率よく回せるのか全従業員より一層意識を持って環境負荷低減に努めてまいりたいと思います。

環境経営方針	☑ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	☐ 変更あり 実績を踏まえて見直す
実施体制	☑ 変更なし	☐ 変更あり

ⅩⅣ．これまでの環境活動の紹介

2014年　LED照明設置



2015年　消火訓練



2016年　美化活動



2017年　消火訓練



2018年　美化活動



2019年　消火訓練



2020年　美化活動



2021年　消火訓練



2022年　美化活動



2023年　消火訓練



2024年　美化活動



2025年　美化活動



ⅩⅤ．編集後記

受託量増加に伴い化石燃料の使用量が増加。次年度は各取組みを更に強化し原単位で目標達成できるよう努めていきたい。